

SANNIX

for Energy, for Environment

Photovoltaic Solution

Total Sanitation

Environmental Resources Development

2018年3月期 第3四半期 決算説明会

株式会社 **サニックス**

2018年 2月14日

1. 2018年3月期 第3四半期 決算概況 P.3

2. 2018年3月期 通期 業績見通し P.16

【免責事項】

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定買取制度」の動向および当該制度に関わる電力会社の動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

(注)

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは100%を超える値の場合「－」で表示しております。



for Energy, for Environment

Photovoltaic Solution
Total Sanitation
Environmental Resources Development

1. 2018年3月期 第3四半期 決算概況

第3四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期				
	3Q累計実績	3Q累計実績	前年同期比	前年同期差異	計画	計画差異
売上高	36,633	36,571	99.8%	△ 62	35,863	+ 708
売上総利益	10,482	10,420	99.4%	△ 62	9,981	+ 439
(売上高売上総利益率)	28.6%	28.5%			27.8%	
営業利益	674	773	114.6%	+ 98	734	+ 39
(売上高営業利益率)	1.8%	2.1%			2.0%	
経常利益	452	558	123.3%	+ 105	630	△ 71
(売上高経常利益率)	1.2%	1.5%			1.8%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	51	341	662.7%	+ 290	437	△ 95
(売上高四半期純利益率)	0.1%	0.9%			1.2%	

- ①売上高 太陽光発電市場の規模縮小による影響を受けS E事業部門が大幅な減収となった。しかしながら、人員等経営資源の適正配置を進め、営業体制等を強化したことによりH S事業部門、E S事業部門がそれぞれ大幅な増収となり、また新電力事業規模の拡大により環境資源開発事業部門が増収となった。この結果、グループ全体の売上高は36,571百万円（前年同期比0.2%減）となった。
- ②利益 苫小牧発電所において、ボイラーに係る法定点検の実施によりコスト増となったことを主因として、環境資源開発事業部門が減益となったが、他の3事業部門は、経営合理化等による経費削減、材料原価低減などが進みそれぞれ増益となった。この結果、グループ全体の損益は、773百万円の営業利益（前年同期比14.6%増）、558百万円の経常利益（前年同期比23.3%増）、341百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比562.7%増）となった。

第3四半期 セグメント別損益実績

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画差異	計画売上比
売上高	36,633		36,571		99.8%	+ 708	
SE部門	18,597	50.8%	12,846	35.1%	69.1%	Δ 835	38.2%
HS部門	4,941	13.5%	6,765	18.5%	136.9%	+ 775	16.7%
ES部門	746	2.0%	1,045	2.9%	140.0%	+ 129	2.6%
環境資源開発部門	12,348	33.7%	15,914	43.5%	128.9%	+ 639	42.6%
売上総利益	10,482	28.6%	10,420	28.5%	99.4%	+ 439	27.8%
販売費・一般管理費	9,808	26.8%	9,646	26.4%	98.4%	+ 399	25.8%
営業利益	674	1.8%	773	2.1%	114.6%	+ 39	2.0%
SE部門	1,247	(6.7%)	1,347	(10.5%)	108.0%	Δ 257	(11.7%)
HS部門	767	(15.5%)	1,103	(16.3%)	143.8%	+ 262	(14.0%)
ES部門	55	(7.4%)	130	(12.5%)	236.2%	+ 72	(6.3%)
環境資源開発部門	678	(5.5%)	502	(3.2%)	74.0%	Δ 42	(3.6%)
配賦不能	Δ 2,073	—	Δ 2,310	—	—	+ 4	—

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を()内に表示しております。

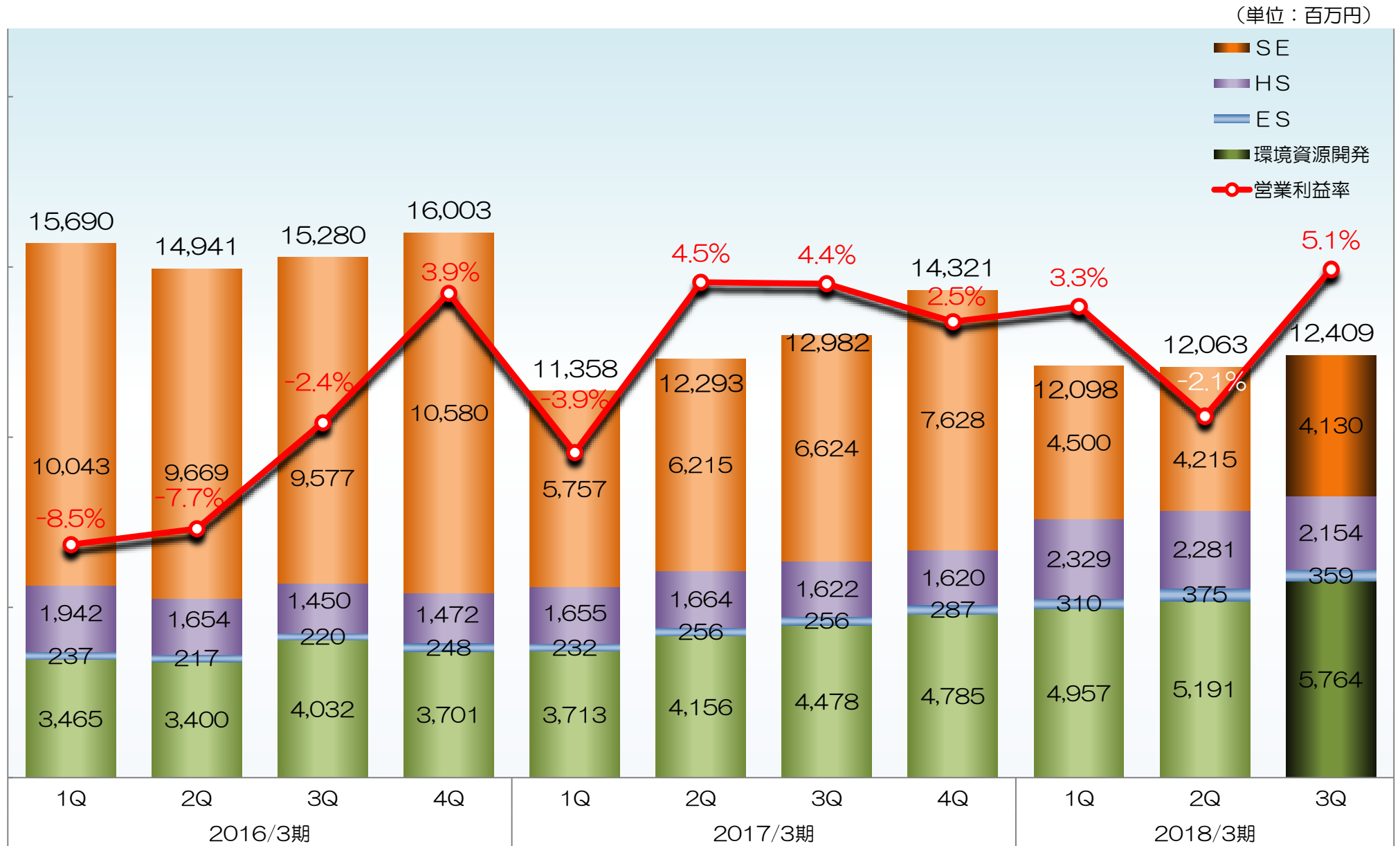
【参考】セグメント別四半期実績の推移

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期					
	4Q		1Q		2Q		3Q	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比
売上高	14,321		12,098		12,063		12,409	
S E 部門	7,628	53.3%	4,500	37.2%	4,215	34.9%	4,130	33.3%
H S 部門	1,620	11.3%	2,329	19.3%	2,281	18.9%	2,154	17.4%
E S 部門	287	2.0%	310	2.6%	375	3.1%	359	2.9%
環境資源開発部門	4,785	33.4%	4,957	41.0%	5,191	43.0%	5,764	46.5%
売上総利益	3,660	25.6%	3,722	30.8%	2,963	24.6%	3,735	30.1%
販売費・一般管理費	3,298	23.0%	3,325	27.5%	3,220	26.7%	3,100	25.0%
営業利益	361	2.5%	396	3.3%	△ 257	—	634	5.1%
S E 部門	421	(5.5%)	442	(9.8%)	495	(11.8%)	409	(9.9%)
H S 部門	212	(13.1%)	402	(17.3%)	347	(15.2%)	353	(16.4%)
E S 部門	39	(13.7%)	40	(12.9%)	58	(15.6%)	31	(8.9%)
環境資源開発部門	351	(7.3%)	338	(6.8%)	△ 395	—	559	(9.7%)
配賦不能	△ 662	—	△ 826	—	△ 763	—	△ 719	—

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を()内に表示しております。

セグメント別売上高の推移



第3四半期 セグメント別実績【SE事業部門】

(単位:百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高合計	18,597		12,846		69.1%	13,682	
太陽光発電システム							
施工売上	17,177	92.4%	11,858	92.3%	69.0%	13,100	95.8%
卸販売	1,338	7.2%	816	6.4%	61.0%	500	3.7%
その他	81	0.4%	171	1.3%	210.2%	81	0.6%
売上原価	13,065	70.3%	8,551	66.6%	65.5%	9,218	67.4%
うち、材料費等※	9,064	48.7%	5,533	43.1%	61.0%	6,010	43.9%
うち、労務費	1,759	9.5%	1,125	8.8%	64.0%	1,390	10.2%
売上総利益	5,531	29.7%	4,294	33.4%	77.6%	4,464	32.6%
販売費・一般管理費	4,284	23.0%	2,947	22.9%	68.8%	2,859	20.9%
うち、人件費	1,599	8.6%	1,294	10.1%	80.9%	1,172	8.6%
その他	2,684	14.4%	1,652	12.9%	61.6%	1,686	12.3%
営業利益	1,247	6.7%	1,347	10.5%	108.0%	1,605	11.7%

※材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

改正F I T法を受け、付帯設備設置などメンテナンス事業を拡充したが、産業用太陽光発電の市場規模縮小による影響が大きく、同システムにおける施工件数が大きく減少し、「太陽光発電システム」施工売上は前年同期比31.0%減となった。この結果、売上高は12,846百万円(前年同期比30.9%減)となった。

営業損益は、大幅な減収となったものの、経営合理化による経費削減、材料原価の低減、他事業への異動により人件費の減少等を進めたことが収益性改善につながり、1,347百万円の営業利益(前年同期比8.0%増)となった。

【参考】SE事業部門損益の四半期推移

(単位:百万円)

	2017/3期		2018/3期					
	4Q		1Q		2Q		3Q	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比
売上高	7,628		4,500		4,215		4,130	
売上原価	5,736	75.2%	2,998	66.6%	2,738	65.0%	2,813	68.1%
材料費等※	4,256	55.8%	1,901	42.3%	1,757	41.7%	1,873	45.4%
労務費	494	6.5%	403	9.0%	370	8.8%	351	8.5%
外注加工費	445	5.8%	227	5.1%	196	4.7%	174	4.2%
その他	540	7.1%	465	10.4%	414	9.8%	414	10.0%
売上総利益	1,891	24.8%	1,501	33.4%	1,476	35.0%	1,316	31.9%
販売費・一般管理費	1,469	19.3%	1,059	23.5%	980	23.3%	906	22.0%
人件費	594	7.8%	439	9.8%	430	10.2%	424	10.3%
その他	874	11.5%	620	13.8%	550	13.1%	481	11.7%
営業利益	421	5.5%	442	9.8%	495	11.8%	409	9.9%

※ 材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

第3四半期 セグメント別実績【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	4,941		6,765		136.9%	5,990	
白蟻防除施工	1,703	34.5%	1,970	29.1%	115.7%	2,100	35.1%
床下・天井裏換気システム	669	13.5%	946	14.0%	141.5%	769	12.8%
基礎補修・家屋補強工事	437	8.9%	1,428	21.1%	326.4%	800	13.4%
その他	2,130	43.1%	2,419	35.8%	113.5%	2,320	38.7%
売上原価	2,440	49.4%	3,039	44.9%	124.5%	2,865	47.8%
うち、労務費	712	14.4%	903	13.4%	126.9%	706	11.8%
売上総利益	2,501	50.6%	3,726	55.1%	149.0%	3,125	52.2%
販売費・一般管理費	1,733	35.1%	2,622	38.8%	151.3%	2,284	38.1%
うち、人件費	1,213	24.6%	1,660	24.5%	136.8%	1,576	26.3%
営業利益	767	15.5%	1,103	16.3%	143.8%	841	14.0%

HS事業の規模拡大を目的にSE事業からの異動等による人員増を図り、営業体制、顧客管理体制を強化、拡充したことにより、「白蟻防除施工」は前年同期比15.7%増、「床下・天井裏換気システム」は前年同期比41.5%増、「基礎補修・家屋補強工事」は前年同期比226.4%増となった。この結果、売上高は6,765百万円（前年同期比36.9%増）営業損益は、人件費の増加等を主因に固定費が増加したが、増収幅が大きかったことが寄与し、1,103百万円の営業利益（前年同期比43.8%増）となった。

限界利益率・損益分岐売上高の推移

■SE事業部門の推移

	2017/3期 実績		2018/3期			
	上半期	下半期	上半期 実績	3Q 実績	3Q 累計 実績	3Q 累計 計画
限界利益率 (%)	42.8	45.9	48.8	46.3	48.0	48.4
月平均固定費 (百万円/月)	788	746	551	499	534	557
損益分岐売上高 (百万円/月)	1,844	1,625	1,130	1,078	1,113	1,151

2017/3期下半期の限界利益率については、材料費に含まれる棚卸資産評価損777百万円は除く。

■HS事業部門の推移

	2017/3期 実績		2018/3期			
	上半期	下半期	上半期 実績	3Q 実績	3Q 累計 実績	3Q 累計 計画
限界利益率 (%)	68.3	67.6	70.8	73.2	71.6	67.4
月平均固定費 (百万円/月)	290	287	405	403	405	350
損益分岐売上高 (百万円/月)	425	425	573	551	565	519

※ 売上高に占める変動費(材料費・外注加工費・運賃等)を引いた利益率を限界利益率として表示。

損益分岐売上高 = 固定費 ÷ 限界利益率

第3四半期 セグメント別実績【ES事業部門】

(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	746		1,045		140.0%	916	
売上原価	455	61.1%	551	52.8%	121.1%	571	62.3%
うち、労務費	118	15.9%	133	12.8%	112.6%	133	14.5%
売上総利益	290	38.9%	493	47.2%	169.8%	345	37.7%
販売費・一般管理費	235	31.5%	362	34.7%	154.2%	287	31.3%
うち、人件費	143	19.2%	226	21.6%	157.8%	178	19.5%
営業利益	55	7.4%	130	12.5%	236.2%	58	6.3%

ES事業の規模拡大を目的にSE事業からの異動等による人員増を図り、営業体制を強化するとともに、ビル・マンション向けの建物維持保全に係る商品に注力し、主力商品である「防錆機器取付施工（商品名：ドールマンショック）」が前年同期比336.8%増となった。この結果、売上高は1,045百万円（前年同期比40.0%増）となった。営業損益は、人件費の増加等を主因に固定費が増加したが、増収幅が大きかったことが寄与し、130百万円の営業利益（前年同期比136.2%増）となった。

第3四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】

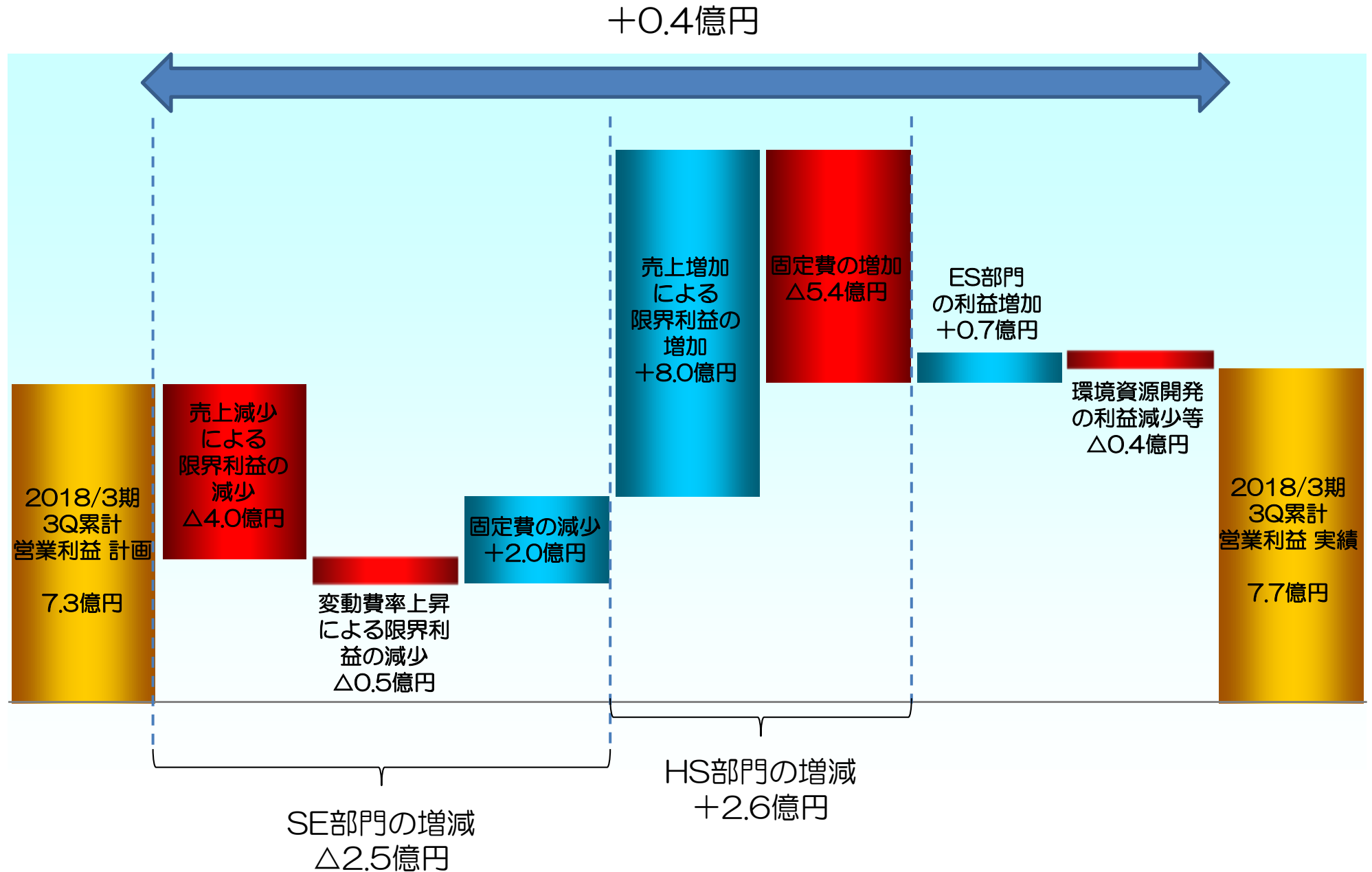
(単位：百万円)

	2017/3期		2018/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高合計	12,348		15,914		128.9%	15,275	
プラスチック燃料	5,403	43.8%	5,712	35.9%	105.7%	5,584	36.6%
売電収入	4,489	36.4%	7,830	49.2%	174.4%	7,377	48.3%
（うち新電力事業収入）	1,708	13.8%	5,259	33.0%	307.9%	4,609	30.2%
有機廃液処理	1,345	10.9%	1,332	8.4%	99.0%	1,320	8.6%
埋立処理	534	4.3%	519	3.3%	97.3%	453	3.0%
その他	576	4.7%	518	3.3%	90.0%	540	3.5%
売上原価	10,189	82.5%	14,008	88.0%	137.5%	13,228	86.6%
売上総利益	2,159	17.5%	1,905	12.0%	88.3%	2,047	13.4%
販売費・一般管理費	1,481	12.0%	1,403	8.8%	94.8%	1,502	9.8%
営業利益	678	5.5%	502	3.2%	74.0%	545	3.6%

廃プラスチック類の受入単価が改善したことを主因として「プラスチック燃料」は前年同期比5.7%増、新電力事業における売電契約先が増加したことを主因に「売電収入」は前年同期比74.4%増となった。この結果、売上高は15,914百万円（前年同期比28.9%増）となった。

営業損益は、苫小牧発電所ボイラーに係る2年毎の法定点検実施による点検関連費用等のコストが増加したことを主因として、502百万円の営業利益（前年同期比26.0%減）となった。

【参考】 営業利益 増減理由 (3Q累計 計画対実績)



【参考】セグメント別 第3四半期累計進捗

(単位：百万円)

	2017/3期			2018/3期		
	通期実績	3Q累計実績	進捗率	通期計画	3Q累計実績	進捗率
売上高	50,955	36,633	71.9%	47,680	36,571	76.7%
S E 部門	26,225	18,597	70.9%	18,153	12,846	70.8%
H S 部門	6,562	4,941	75.3%	7,857	6,765	86.1%
E S 部門	1,033	746	72.2%	1,269	1,045	82.4%
環境資源開発部門	17,133	12,348	72.1%	20,401	15,914	78.0%
売上総利益	14,142	10,482	74.1%	13,440	10,420	77.5%
販売費・一般管理費	13,106	9,808	74.8%	12,230	9,646	78.9%
営業利益	1,036	674	65.1%	1,210	773	63.9%
S E 部門	1,669	1,247	74.7%	2,127	1,347	63.4%
H S 部門	979	767	78.3%	1,038	1,103	106.3%
E S 部門	94	55	58.3%	99	130	131.9%
環境資源開発部門	1,029	678	65.9%	940	502	53.4%
配賦不能	△ 2,735	△ 2,073	—	△ 2,994	△ 2,310	—



for Energy, for Environment
Photovoltaic Solution
Total Sanitation
Environmental Resources Development

2. 2018年3月期 通期 業績見通し

通期業績見通しに変更はありません。

(単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期		
	実績	計画	前期比	前期差異
売上高	50,955	47,680	93.6%	△ 3,275
売上総利益	14,142	13,440	95.0%	△ 702
(売上高売上総利益率)	27.8%	28.2%		
営業利益	1,036	1,210	116.7%	+ 173
(売上高営業利益率)	2.0%	2.5%		
経常利益	907	1,090	120.2%	+ 182
(売上高経常利益率)	1.8%	2.3%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	416	810	194.7%	+ 393
(売上高当期純利益率)	0.8%	1.7%		



2018年3月期の連結業績予想については、5月11日に公表した連結業績予想に変更はありません。

中期経営計画2年目の当期は、太陽光発電事業における事業環境に対応し、事業体制をより一層強化すべく、組織改編や事業部間の人員の異動を行い、引き続き持続的な黒字化、継続的な成長を図ることにより、4事業からの安定的な収益を実現していく。

2018年3月期 セグメント別業績見通し

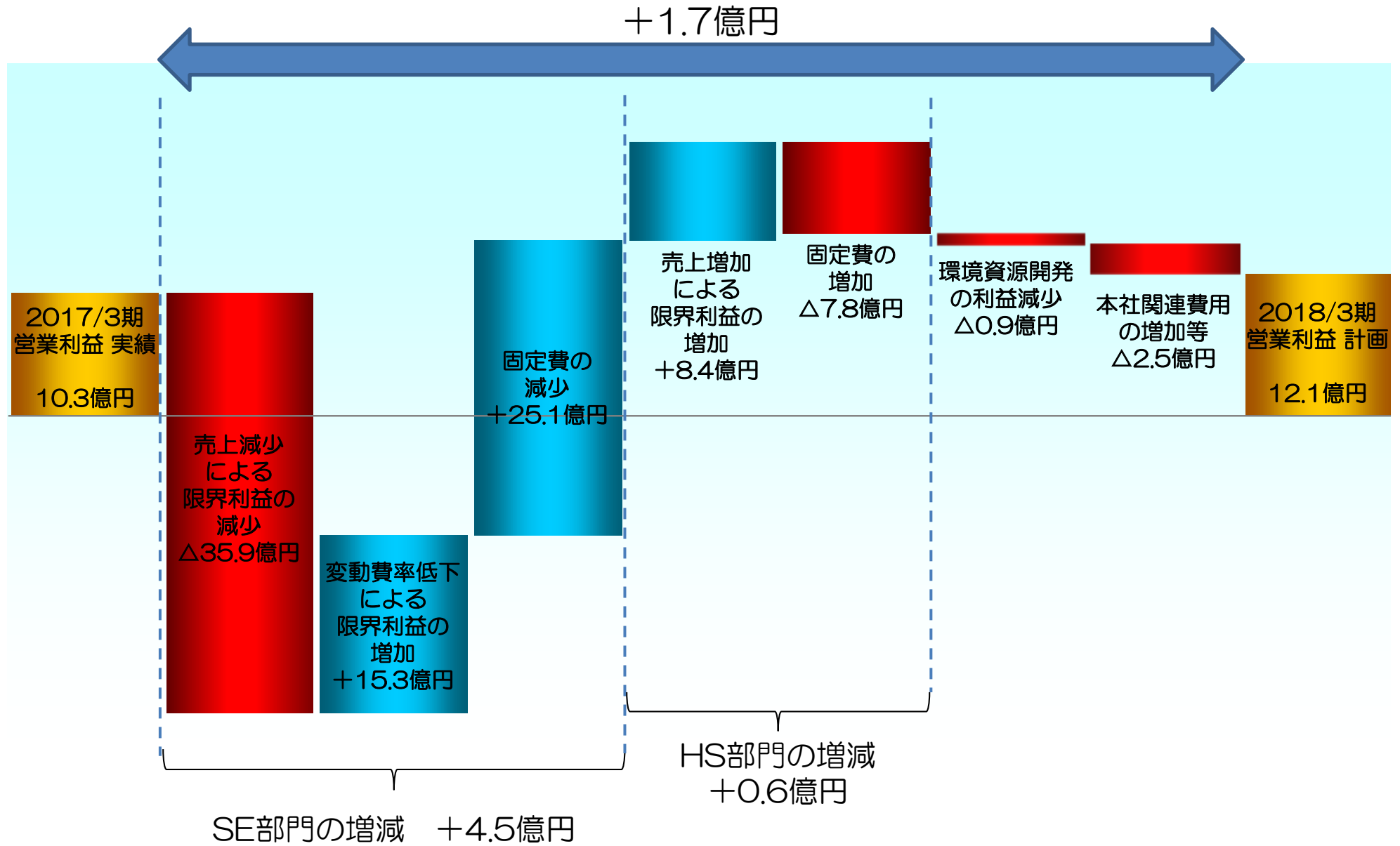
通期業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

	2017/3期 通期		2018/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
売上高	50,955		47,680		93.6%	Δ 3,275
S E 部門	26,225	51.5%	18,153	38.1%	69.2%	Δ 8,072
H S 部門	6,562	12.9%	7,857	16.5%	119.7%	+ 1,294
E S 部門	1,033	2.0%	1,269	2.7%	122.7%	+ 235
環境資源開発部門	17,133	33.6%	20,401	42.8%	119.1%	+ 3,267
売上総利益	14,142	27.8%	13,440	28.2%	95.0%	Δ 702
販売費・一般管理費	13,106	25.7%	12,230	25.7%	93.3%	Δ 876
営業利益	1,036	2.0%	1,210	2.5%	116.7%	+ 173
S E 部門	1,669	(6.4%)	2,127	(11.7%)	127.4%	+ 457
H S 部門	979	(14.9%)	1,038	(13.2%)	106.0%	+ 58
E S 部門	94	(9.2%)	99	(7.8%)	104.4%	+ 4
環境資源開発部門	1,029	(6.0%)	940	(4.6%)	91.3%	Δ 89
配賦不能	Δ2,735	—	Δ2,994	—	—	Δ 258
経常利益	907	1.8%	1,090	2.3%	120.2%	+ 182
親会社株主に帰属する当期純利益	416	0.8%	810	1.7%	194.7%	+ 393

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を()内に表示しております。

【参考】 営業利益 増減理由 (前期実績 対 今期計画)



今期の課題

SE事業部門

- ・市場縮小に適した体制の構築
- ・法令改正等による市場環境の変化への対応

HS事業部門

- ・顧客減少抑制の管理体制整備
- ・新商品導入による顧客提案メニューの増加

ES事業部門

- ・紹介案件増に向けアライアンスの拡大・強化
- ・防錆機器の販売強化

環境資源開発事業部門

- ・廃プラスチック受入量の回復
- ・発電所の効率的な稼働
- ・新電力事業の採算性向上

本社部門

- ・部門間の連携強化
- ・今後の成長にむけた企画部門の強化・充実

現在の進捗状況

- ・今年度新たに申請している案件の施工がようやく進んできたが、法令改正後に事業計画認定が遅延した影響を、取り戻すまでは至っていない
- ・中国の需給バランス調整の影響で太陽光パネル価格が若干値上がりしていたが、調整期間も終わり、今後は微減の傾向となる見込み

- ・顧客管理の強化によって既存顧客の回復に一定の成果が出た
- ・今後は新規開拓の取組みも積極的に進め、今後の顧客基盤の拡大をはかる

- ・人員増加により顧客管理の強化を図った結果、防錆機器の販売拡大に成果が出た
- ・ビル・マンション管理会社を中心にアライアンスを行っており、今後の売上基盤として更に拡大を図る

- ・廃プラスチック受入単価改善は進んでいるが、受入量は受入単価値上げ前の水準に回復できていない
- ・新電力事業は、供給量・供給先が順調に増加し、さらに安定した電源調達が可能となり、採算性が改善した

- ・部門横断のコスト削減プロジェクトを立上げ、短期・中長期両面でのコスト削減策を順次実行する

通期業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

	2017/3期 通期		2018/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
売上高合計	26,225		18,153		69.2%	△ 8,072
太陽光発電システム						
施工売上	24,228	92.4%	17,400	95.9%	71.8%	△ 6,828
卸販売	1,889	7.2%	650	3.6%	34.4%	△ 1,239
その他	107	0.4%	102	0.6%	95.3%	△ 5
売上原価	18,802	71.7%	12,207	67.2%	64.9%	△ 6,595
うち、材料費等※	13,320	50.8%	7,954	43.8%	59.7%	△ 5,366
うち、労務費	2,253	8.6%	1,854	10.2%	82.3%	△ 399
売上総利益	7,423	28.3%	5,946	32.8%	80.1%	△ 1,477
販売費・一般管理費	5,754	21.9%	3,819	21.0%	66.4%	△ 1,935
うち、人件費	2,194	8.4%	1,579	8.7%	72.0%	△ 614
その他	3,559	13.6%	2,239	12.3%	62.9%	△ 1,320
営業利益	1,669	6.4%	2,127	11.7%	127.4%	+ 457

※材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

SE事業部門は、改正FIT法における事業計画申請に係る認証手続きの遅れによる工事のずれは解消しつつあり、第4四半期には正常化する見込みである。

利益については、部材等のコストダウン、人員配置見直しによる人件費の低減に加え、その他固定費についても徹底的に見直すことで通期計画の達成を目指す。

通期業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

	2017/3期 通期		2018/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
売上高	6,562		7,857		119.7%	+ 1,294
白蟻防除施工	2,159	32.9%	2,652	33.8%	122.8%	+ 492
床下・天井裏換気システム	854	13.0%	1,001	12.8%	117.2%	+ 147
基礎補修・ 家屋補強工事	582	8.9%	1,119	14.3%	192.2%	+ 537
その他	2,965	45.2%	3,083	39.2%	104.0%	+ 117
売上原価	3,276	49.9%	3,790	48.2%	115.7%	+ 513
うち、労務費	950	14.5%	947	12.1%	99.7%	△ 3
売上総利益	3,285	50.1%	4,067	51.8%	123.8%	+ 781
販売費一般管理費	2,306	35.1%	3,029	38.6%	131.3%	+ 722
うち、人件費	1,603	24.4%	2,101	26.7%	131.0%	+ 497
営業利益	979	14.9%	1,038	13.2%	106.0%	+ 58

HS事業部門は、SE事業部門からの異動による増員によって、既存顧客管理体制の強化が進んだ。今後も現在の取り組みを継続する一方で、新規顧客開拓を強化し、通期計画の早期達成を目指すとともに、来期以降の顧客基盤の拡大につなげる。

利益は通期見込みを既に達成しているが、増収幅を拡大させ人件費等の費用増を吸収することで、さらなる上積みを目指す。

【参考】限界利益率・損益分岐売上高の推移

■SE事業部門の推移

	2017/3期 実績			2018/3期	
	上半期	下半期	通期	上半期 実績	通期 計画
限界利益率 (%)	42.8	45.9	44.5	48.8	48.6
月平均固定費 (百万円/月)	788	746	767	551	558
損益分岐売上高 (百万円/月)	1,844	1,625	1,726	1,130	1,148

2017/3期 下半期・通期実績については、材料費に含まれる棚卸資産評価損777百万円は除く。

■HS事業部門の推移

	2017/3期 実績			2018/3期	
	上半期	下半期	通期	上半期実績	通期 計画
限界利益率 (%)	68.3	67.6	67.9	70.8	67.4
月平均固定費 (百万円/月)	290	287	288	405	350
損益分岐売上高 (百万円/月)	425	425	425	573	520

※ 売上高に占める変動費(材料費・外注加工費・運賃等)を引いた利益率を限界利益率として表示。

損益分岐売上高 = 固定費 ÷ 限界利益率

通期業績見通しに変更はありません。

(単位:百万円)

	2017/3期 通期		2018/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
売上高合計	1,033		1,269		122.7%	+ 235
売上原価	623	60.3%	784	61.8%	125.8%	+ 160
うち、労務費	156	15.1%	178	14.0%	113.9%	+ 21
売上総利益	410	39.7%	485	38.2%	118.1%	+ 74
販売費・一般管理費	315	30.6%	386	30.4%	122.2%	+ 70
うち、人件費	195	18.9%	239	18.9%	122.1%	+ 43
営業利益	94	9.2%	99	7.8%	104.4%	+ 4

ES事業部門は、ビル・マンション等の管理会社とのアライアンス活動を強化し、新規顧客の開拓、既存顧客のアフターフォロー体制を拡充を図ることで、通期の売上高計画の早期達成を目指すとともに、来期以降の顧客基盤の拡大につなげる。

利益については、既に通期計画を達成しているものの、増収幅をさらに拡大し、人件費等の費用増を吸収することで、さらなる上積みを目指す。

通期業績見通しに変更はありません。

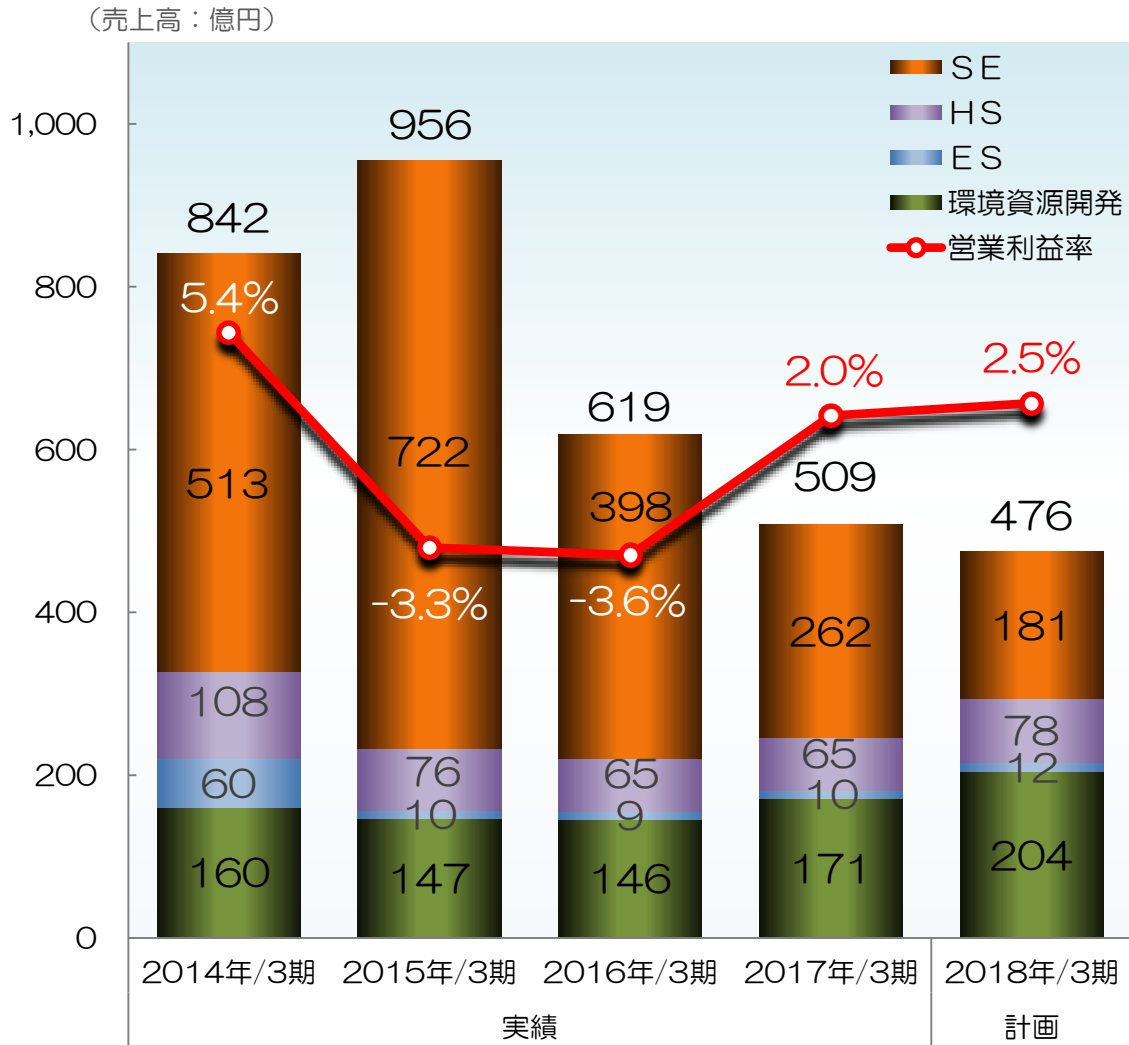
(単位:百万円)

	2017/3期 通期		2018/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
売上高合計	17,133		20,401		119.1%	+ 3,267
プラスチック燃料	7,139	41.7%	7,361	36.1%	103.1%	+ 222
売電収入	6,806	39.7%	10,045	49.2%	147.6%	+ 3,238
(うち新電力事業収入)	2,925	17.1%	6,223	30.5%	212.7%	+ 3,297
有機廃液処理	1,768	10.3%	1,743	8.5%	98.5%	△ 25
埋立処理	648	3.8%	547	2.7%	84.4%	△ 101
その他	770	4.5%	704	3.5%	91.4%	△ 66
売上原価	14,110	82.4%	17,459	85.6%	123.7%	+ 3,348
売上総利益	3,023	17.6%	2,942	14.4%	97.3%	△ 81
販売費・一般管理費	1,994	11.6%	2,002	9.8%	100.4%	+ 7
営業利益	1,029	6.0%	940	4.6%	91.3%	△ 89

環境資源開発事業部門は、新電力事業収入の増加により、売上高は計画を上回る進捗である。利益については、上半期に苫小牧発電所法定点検等の実施を主因として営業赤字となったが、廃プラスチック類の受入単価改定による利益改善や、処分費等のコスト削減なども進んでおり、通期計画の達成を目指す。

通期業績見通しに変更はありません。

■2018年3月期セグメント別売上高・営業利益率の見通し



・2014/3期の実績については、SE事業部門は旧産業用PV部門の実績であり、HS・ES事業部門は太陽光発電システムの実績を含めて表示しております。

2018年3月期見通し

売上高： **47,680**百万円

営業利益： **1,210**百万円

営業利益率： **2.5%**